

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	スーパーサイエンスハイスクール	担当部局庁	初等中等教育局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度・未定	担当課室	教育課程課	教育課程課長 塩見みづ枝			
会計区分	一般会計	政策・施策名	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-1 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定) 科学技術基本計画(第4期)(平成23年8月19日 閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針(平成25年6月14日 閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校を「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH)として指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験棟を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援する事業の円滑かつ効果的な実施に必要な検討等を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	文部科学省において直接スーパーサイエンスハイスクール企画評価会議の開催、中間評価の実施等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	2	1.4	4.6	3.8	3.4
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	2	1.4	4.6	3.8	3.4
		執行額	1	0.9	3.8		
	執行率(%)	66.1%	64.3%	81.6%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果目標: SSH事業の円滑かつ効果的な実施 成果指標: SSH事業説明会の新規希望参加校数	成果実績	校	81	118	90	80
		達成度	%	101.30%	147.50%	112.50%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	SSH企画評価会議等開催数	活動実績 (当初見込み)	回	16 (5)	18 (5)	21 (9)	— (6)
			回	1 (1)	1 (1)	1 (1)	— (1)
	SSH事業説明会開催数						
単当たりコスト	171,812(円/回)	算出根拠	執行額/(会議等開催回数) =3,780(千円)/(21回+1回) =171.8(千円/回)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.8百万円	0.8百万円	積算単価の見直しによる減			
	職員旅費	0.7百万円	0.7百万円				
	委員等旅費	1.9百万円	1.7百万円				
	庁費	0.3百万円	0.3百万円				
	計	3.8百万円	3.4百万円				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	SSH事業は教育振興基本計画、科学技術基本計画、教育再生実行会議の第三次提言等においてその必要性が明記され、政策として優先度が高い事業であり、その円滑かつ効果的な実施のために、国が主体的に実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	業務の実施に当たっては、文部科学省の定める旅費、諸謝金等の基準・単価に従うとともに、庁費の執行状況を見直すなど、無駄の削減に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	SSH企画評価会議の開催、中間評価の実施等、SSH事業の円滑かつ効果的な実施に必要な取組を着実に実施している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	事業の実施に関して、事前に開催時期・回数等の検討を行い、関係規定に基づき、証拠書類等を確認し、会議出席への謝金・旅費等を支出している。平成23年度決算において不用額が生じていたが、平成24年度に各費目の予算額の見直しを行っており、執行率は向上している。今後も引き続き事務的経費の効率的で適正な執行に努めるとともに、必要な経費について精査に努める。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、科学技術・理科、数学教育の重点化を図るため、スーパーサイエンスハイスクール企画評価会議や研究開発協議会の開催、中間評価・事後評価等を実施する事業であり、予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成24年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業の効率化を検討し、企画評価会議の事務費などの積算単価を再検証した上で、概算要求に▲0.375百万円反映した。					
備考						
○教育振興基本計画(平成20年7月1日) http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/080701/002.pdf						
○科学技術基本計画(第4期)(平成23年8月19日閣議決定) http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/fieldfile/2011/08/19/1293746_02.pdf						
○教育再生実行会議 第三次提言(平成25年5月28日) http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/pdf/dai3_1.pdf						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0198	平成23年	0131	平成24年	0139

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

A. 文部科学省 3. 8百万円	諸謝金 職員旅費 委員等旅費 庁費	1. 0百万円 0. 8百万円 1. 7百万円 0. 3百万円	} を含む
---------------------	----------------------------	--	-------

（スーパーサイエンスハイスクール企画評価会
議やSSH生徒研究発表会の開催、中間評価
の実施等を行う。）

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げ
と合計は一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万
円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					